

# 「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

**事業名** 消防団員の負担軽減を目指したDX化事業

**自治体名**

埼玉県寄居町

**消防団名**

寄居町消防団

## 1 事業の目的・必要性

【目的】 消防団員の事務負担軽減、消防団活動の透明性を高め、消防団のイメージアップ、団員のモチベーション向上及び新規入団者の確保につなげる。

【必要性】 寄居町消防団は団員数減少という課題を抱えており、社会情勢の変化に適応した持続可能な組織づくりが喫緊の課題である。

## 2 事業内容

本事業では消防団の充実強化と団員の確保を目的として、消防団出場指令及び勤怠管理アプリを導入する。導入先は、全消防団員のほか、寄居町防災担当職員等の職員とする。

スマートフォン等を介した消防団員に対する出勤指令のほか、事務連絡、勤務記録の提出等をアプリに一元化し、正確な活動実態を把握する。これにより、適正な報酬算定を実現する。

## 3 事業成果

(1) 火災発生時の初動体制における課題の解決

アプリ導入により、火災発生を知らせるメールと同時にアプリ上でマナーモード下でも鳴るアラームとバイブレーションを鳴動させ、確実に出勤指令が団員のもとに届くようになり、24時間体制の出勤が可能となった。

(2) 出勤報酬支給事務の簡略化

アプリ導入により、GPSと連動した出勤管理で自動的に災害現場に出勤した団員が記録され、出勤報告書の作成・報告もアプリ上で一貫して行えるようになり、団員の事務負担の軽減に繋がった。

(3) 連絡手段のIT化

アプリ導入により、通知の発送手段は原則としてPDF化してアプリ上で共有することとなり、コストの削減や紙資源削減による省エネ化に繋がった。

(4) 団員数の増加

令和5年度当初と比較し、団員数が2名の増となった。



令和5年11月実施の団員を対象にした操作研修会の様子



今回導入したアプリ「FireChief」のホーム画面

## 4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
アプリの導入	アカウント数	155件	154件	
研修の実施	参加者数	31人	24人	
配布資料のデジタル化	配布回数	4回	6回	

## 5 その他参考情報

寄居町消防団の活動の様子は、主に寄居町公式X(旧Twitter)で発信しています！

[https://twitter.com/yorii\\_official](https://twitter.com/yorii_official)